

当初計画からの主な変更点は以下のとおりです。

P.12 市道除排雪水準の向上

間口の置き雪処理の負担を軽減する新しい除雪方法等について、調査、研究及び導入の検討を進めます。

P.13 大雪時における対応と体制の確立

大雪や暴風雪時に備え、市全体の主要道路等に関して、除雪を優先する路線について検討し、集中的かつ効果的な除雪に努め、円滑な交通を確保します。

具体的な対応等については、北広島市雪害検証・検討会議で策定した「大雪時における対応方針」によるものとします。

P.13 雪堆積場の運用

社会情勢（働き方改革など）を考慮した雪堆積場の運用について検討します。

P.13 除雪時における事故の防止

新雪除雪作業の終了時間は、朝の通勤・通学時間を考慮し安全の確保から朝 7 時を目標とします。

P.14 新技術の活用

除排雪の効率化や除雪体制の維持・拡充のため、GPS（全地球測位システム）データを利用したシステムや除雪車両の安全装置等の新技術の導入を検討します。

P.19 地域との連携の推進

それぞれの地域の除排雪に関する課題を整理し協働で作成した除雪マップを活用し、地域の特性に応じた雪対策の取組みを推進するとともに、除雪マップの更新について検討します。

P.21 雪に関する情報の共有化

除雪作業の実施情報等に関しては、市民の皆様に分かりやすい表示内容について検討します。

P.28 空き家からの落雪対策について

空き家などからの落雪による事故を未然に防ぐため、その対策について、関係機関と協議、検討を進めます。